

国語科授業案

日時 平成27年1月30日(金) 5校時
生徒 2年B組 男子13名 女子21名 計34名
授業場 北海道教育大学附属釧路小学校6年1組教室
授業者 太田 諭

1 単元名 「意見交流を通して『走れメロス』に隠された太宰治のメッセージを探ろう」 ～中心教材「走れメロス」「人質」～

2 単元について

(1) 教材観

人が文学作品を読むということは、読み手の主体的行為であるという考え方があるが、それはその通りであろう。しかし文学が言語を媒介とした伝達行為である以上、書き手の意図について考え、その妥当性を検討することは、極めて重要なことだと考える。

前回の学習指導要領改訂では、国語科の授業において、「読むことの指導への偏重」が批判され、「話す・聞く」「書く」「読む」のバランスよい指導が重要とされた。また、「読むこと」の中でも「文学作品の指導への偏重」が批判され、さらには、「文学作品の指導」における、「場面に即した詳細な読みの指導」「登場人物の心情に偏重した読みの指導」が批判されてきたという経緯がある。このことは、「作品を指導するのではなく作品で指導する」という言葉に集約されるが、これらの批判は極めて妥当なものだと思える。とくに、「場面に即した詳細な読みの指導」については、「作品を指導」することになりかねない危険を孕んだものであると言えよう。

しかし、これらのことにより、文学作品を教材として扱うことの価値が薄れたということでは決してないだろう。文学作品から我々が学ぶことは、展開や描写の巧みさ、洗練された言葉、登場人物の言動、それらによって表出されるテーマ性など、数多くある。むしろ、近年では中学生が近現代の名作に触れる機会が少なくなっているという現状から、そうした作品を教科書でも積極的に取り上げている。

そうした名作といえる作品の一つである「走れメロス」は、1940年に太宰治により発表された短編小説である。中学校国語の教科書に古くから取り上げられ、極めて息の長い教材でもある。このことは、本校国語科の研究における「価値の選好にはたらきかける」という面からも、内容価値の高い作品であることを示すものである。教科書中にはないが、作品最後に「古伝説とシルレルの詩から」とあり、ドイツのフリードリヒ・フォン・シラー(1759～1805)の詩「人質」(邦訳1937)を参考に書き上げたことを明かしている。「走れメロス」の内容は今更記すまでもないが、太宰の作品としては珍しく、明るく希望に満ちた内容となっている。しかし、シラーの詩と対比すると、太宰が強調したかったのは、むしろ「勇者としてのメロス」よりも、「人間として苦悩するメロス」であると考えられる。しかし、このことは、シラーの詩との対比によって初めて浮き彫りになるものであり、「走れメロス」のみを読んだとしても、見えにくいものである。よって、シラーの詩を「走れメロス」の比較対象として教材とした。

(2) 生徒観

省略

(3) 指導観

以上のことを踏まえ、本単元では、教科主題の手だてである、「指導事項を明確にし、価値の選好にはたらきかける」単元を貫く言語活動として『走れメロス』と『人質』とを比較し、太宰治の隠されたメッセージを探り、交流する」を設定する。**手だて1**

この言語活動を設定したのは、次のような利点が考えられるためである。

- ①「人質」については存在があまり知られていないため、新鮮な驚き、知的好奇心が喚起されること
- ②比較することで、単独では読み取りにくい作者の意図が見えてくること
- ③比較することで、文章全体を読む必要感が生まれること
- ④比較することで、場面に即した詳細な読み以上の生徒の気づきが期待できること
- ⑤交流を前提とすることで、追究の必要感が生まれること
- ⑥交流することで、個に閉じていた発想が広がり、読みの深まりが期待できること

前述のように、二つの作品を比較することによって、太宰の意図がより鮮明に浮かび上がると考えられる。また、追究活動によって得た自分の考え（太宰のメッセージ）を他者と交流することによって、当初の考えがさらに深まり、より妥当なものへと変容していくと考える。そのような活動によって、「走れメロス」に対する読みの深まりを実感させ、言葉に対する価値意識を高めたい。また、他の作品を読む際にも、芥川など、他の作品を参考にして書かれている作品が多数あることを紹介し、参考となった作品との比較によって新たな読みが得られるということを知識としてもたせたい。それらが生涯にわたる自律的な学びにつながるものと考えている。

1 単位時間の手だてとしては、『走れメロス』の『人質』との違いはどこか」「太宰はなんのためにそれらを変えたのか」「太宰の隠されたメッセージは何か」を中心発問とし、段階的に思考の深まりを促したい。**手だて2**

さらに、今年度の課題であった、「メタ認知」にはたらきかける手だてとして、振り返りの視点を工夫したいと考える。**手だて3**

3 単元の目標

『走れメロス』と『人質』とを比較し、太宰治の隠されたメッセージを探り、交流する」という言語活動を通して、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができるようにする。

4 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解
ア 太宰治のメッセージについて主体的に追究し、課題を解決しようとしている。 イ 太宰治のメッセージについて、根拠を明確にして交流しようとしている。	ア 文章の構成や展開、表現の仕方を適切に捉え、比較の根拠としている。 イ 太宰治のメッセージについて、表現を根拠として適切に捉えている。	ア 文章を比較して読むとき、文章の構成や展開、表現の仕方などについて考えている。

5 単元指導計画（全5時間）

時	学 習 事 項	主な学習活動・手立て	評 価		
			関	読	言
1	○学習の見通しを持つ。 ○「走れメロス」を読み、展開をとらえる。 ○太宰のメッセージについて予想する。	○単元を貫く言語活動を知り、学習の見通しをもつ。 手だて1 ○「走れメロス」を通読し、登場人物や展開をとらえる。 ○「走れメロス」に託した太宰のメッセージを予想する。 手だて3	ア	ア	
2 本 時	○「人質」を読み、展開をとらえる。 ○「人質」と「走れメロス」との違いをまとめる。 ○太宰のメロスに隠されたメッセージを探る。	○「人質」を読み、登場人物や展開をとらえる。 ○「人質」と「走れメロス」について、展開や描写の違いをまとめ、交流する。 手だて2 ○なぜその違いが生じたかを考えることで、太宰の隠されたメッセージについて考える。 手だて2	ア	イ	ア
3	○太宰のメロスに隠されたメッセージを探る。	○なぜその違いが生じたかを考えることで、太宰の隠されたメッセージについて考える。 ○発表・交流の準備を同時に行う。 手だて1	ア	イ	ア
4	○太宰のメロスに隠されたメッセージについての考えを交流し、考えを深める。	○太宰のメロスに隠されたメッセージについて、自分の考えを発表する。 手だて1 ○太宰のメロスに隠されたメッセージについて、他者の考えを聞くことで、考えを深める。 手だて1	イ	イ	ア
5	○深めた考えをまとめ、当初の予想との変化をとらえ、変容を実感する。	○深めた考えをまとめる。 ○単元の振り返りをし、自分の考えの変容を実感する。 手だて3	イ	イ	ア

6 本時案（2／5時間目）

(1) 本時の目標

「人質」と「走れメロス」の展開・描写の違いに気づき、太宰が変更した意図について考えることができる。

(2) 本時の展開

(○…発問、△…補助発問、□…指示・説明)

主な学習活動（下位目標）	教師の働きかけ・ 手立て	【評価方法】・備考
1 前時の振り返りを通して、単元のねらい及び「走れメロス」の展開を確認することができる。	○前の時間にはどのような学習をしましたか。また、「走れメロス」はどんな話でしたか。	
2 「人質」を読み、展開を捉えると	○この文章を読んでみましょう。この	・「人質」配付

ともに、「走れメロス」との関係を目
分なりに予想することができる。

3 「人質」が、「走れメロス」の原
点であることを知るができる。

4 本時の学習課題を知る。

「人質」と「走れメロス」を比較し、太宰の隠されたメッセージを探ろう。

5 「走れメロス」の「人質」との違
いについて、三点以上気づき、記述す
ることができる。

- ・メロスが激怒した理由がある
- ・王の心理描写がある
- ・セリメンテウスの名がある
- ・メロスが友人に理由を説明していない
- ・妹の結婚が詳細に描かれている
- ・メロスのためらいがある
- ・のんきなどメロスの性格が描かれている
- ・山賊が王の命令である可能性がある
- ・メロスの諦めがある
- ・フィロストラトスが親友の従者である
- ・メロスと親友が互いに疑っている
- ・殴り合う場面がある
- ・王が見に来ている
- ・群衆の歓喜がある
- ・メロスが標的である
- ・最後に少女がでてくる など

6 両作品の違いについて交流するこ
とで、「走れメロス」の特徴をとらえ
ることができる。

7 太宰が変えた部分の一つについ
て、その意図を根拠に基づいて考え、
交流することができる。

8 太宰が変えた部分の中で、太宰
のメッセージと深く関わるとされる
変更点について、変更の意図を考
えることができる。

- メロスが激怒した理由がある・・・メロスの行動に必然性をもたせる
- 王の心理描写がある・・・王にも苦悩があることを示す
- 親友の名がある・・・親友の重要性を増す
- 親友に身代わりの理由を説明しない・・・友情の確かさを表現する
- 妹の結婚が詳細に描かれている・・・伏線や、結婚にも奔走するメロスを描く
- メロスのためらいが詳述・・・苦悩する人間らしさを表現する など

9 考えたことを、根拠に基づいて発
表することができる。

10 当初考えた太宰のメッセージを振
り返り、新たな予想を立てることが
できる。

文章はなんだと思いますか。「走れメ
ロス」とどんな関係があると思いま
すか。※一部範読

手だて1

□これは、一八世紀にドイツのシラー
によって書かれた「人質」という詩で
す。この日本語訳を太宰が参考にした
ことを、メロスの最後に書いています。

・板書

・板書

・ワークシート配付

・個人

【ワークシート】

・机間指導

○「走れメロス」の「人質」との違い
はどんなところにあるでしょうか。に
ついて、自分なりにまとめてみましょ
う。

手だて2

△「人質」になくて、「走れメロス」
にあるものは何だろうか。

□見つけた違いを発表しましょう。

・一斉

【発言】

○なんのために太宰はここを変えたの
だろうか。考え、交流しましょう。

手だて2

・数名を指名し発表

【発表】

○他にも変わっている部分があります
が、太宰のメッセージに深く関わると
思われる変更点について、その意図を
考えましょう。

手だて2

・個人

【ワークシート】

・机間指導

○どんな意図が見えましたか。発表し
てください。

・数名に指名し、発
表。【発表】

○前時の予想は正しそうですか。振り
返ってみましょう。

手だて3

・振り返り

【ワークシート】